

関係者各位

2009年2月10日

**通研講演会（仙台“プラズマフォーラム”）
東北大学電気通信研究所共同プロジェクト研究講演会
の御案内**

寒気ことのほか厳しい毎日を迎えております。皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。

さて下記の通り、通研講演会（仙台“プラズマフォーラム”）並びに東北大学電気通信研究所共同プロジェクト研究 H20/A01「プラズマナノバイオエレクトロニクス基礎研究」（代表者：畠山 力三）講演会を開催する運びとなりました。

皆様多数ご参集下さいますようお願い申し上げます。

東北大学 大学院工学研究科 電子工学専攻
畠山 力三

－ 記 －

日 時：平成 21 年 2 月 23 日(月) 15:30～16:30

会 場：東北大学大学院工学研究科 電気・情報系 103 会議室

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05

講演題目：「重水素プラズマ中での負イオンの生成と応用
－NBI用の負イオン源開発に向けて－」

講 師：福政 修（山口大学大学院 理工学研究科）

講演要旨：中性粒子ビーム入射（NBI）用の重水素負イオン源開発を目標に、水素／重水素プラズマ中での負イオン生成の機構解明および高効率化に関して、山口大学で行ってきた研究を紹介する。具体的には、負イオン源のモデリングによる負イオン生成・負イオン引出しの検討、直流放電プラズマ中でのプラズマ制御と負イオン生成、 H^-/D^- 生成の同位体効果、長寿命化を目標とした高周波放電プラズマ中での負イオン生成、等について述べる。

連絡先：東北大学 大学院工学研究科 電子工学専攻 金子 俊郎
(kaneko@ecei.tohoku.ac.jp, 022-795-7046)